

令和7年度 東区組織目標

組織名	東区	区長	野本 俊太郎
組織の目的・方向性	「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※1	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・将来負担比率 ※2 (将来世代に過度な負担をさせないための財政運営に資する比率) ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均） ・身近な公園について、安心・安全で快適に利用できると思う市民の割合		

※1 政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

※2 将来負担比率…1年間の収入総額に対する、将来市が支払う借金の残高との割合。数字が小さいほど将来の負担が少ない。

東区組織目標

東区では、新潟市総合計画 2030 及び東区区ビジョンまちづくり計画に基づき、「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて取り組みます。

この方針のもと、次の6つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 ものづくりをはじめとする多様な産業の魅力を活用して観光や教育に結び付けていく「産業観光」の進展に向けて、民間事業者をはじめ多様な主体と連携しながら取り組みます。
- 2 公共施設に対するニーズの変化が生じる中、施設の利活用も含め地域住民などと連携しながら検討し、施設の最適化に努めます。
- 3 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。
- 4 民生委員・児童委員や地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会などの関係機関との連携を一層強化し、住民の福祉ニーズに即した支援を推進します。
- 5 い〜てらす、わいわいひろば、こども創作活動館などの子育て支援施設の運営を通じ、子どもがいきいきと活動できる場、保護者の相談や交流の場として、安心して子育てができる環境を提供します。
- 6 良好な住環境の創出につなげていくため、市民の憩いの場やレクリエーションの場である公園・緑地を、子育て支援・高齢者支援など地域のニーズを反映しながらリニューアルします。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください

評価

	重点目標の達成状況	目標数	6	達成数	6
取組結果	1 民間事業者 18 者のほか県立大、新大、開志専門職大学、木工センター、第四北越銀行と連携しオープンファクトリーを開催しました。北高校は、総合的な探求の時間を通じ工場見学等に参加しました。 初めての取組みとして、東区オープンファクトリー実行委員会と燕三条工場の祭典実行委員会が相互に見学を行うなど、多くの交流が生まれました。 2 石山・東石山地域実行計画を策定するとともに、同計画を着実に進めるための基本構想も策定しました。 3 自治会の自主防災組織などを対象に防災講座を開催し、住民への防災に関する知識の啓発と地域防災力の向上に努めました。また、防災講演会や東区防災・安心安全フェスタを開催し、家庭での災害に対する日頃からの備えなどの周知・啓発を行い、区民の防災意識向上に努めました。 4 民生委員協力のもと、75 歳以上の独居や高齢者のみ世帯への見守り訪問により個々の状況を把握し、介護保険や見守り等の必要なサービスにつなげ、地域で孤立せず安心して暮らせるよう支援しました。 5 子育て支援施設の運営とともに、各種講座を通じて子育て世代同士の交流を促進しながら、育児の不安感や孤独感の解消に努めました。 また、情報誌（ままっぷ）の発行や東区こどもまつりを開催し、子育て支援施設の周知を行いました。 6 人口減少や少子高齢化の進行などの社会情勢の変化に対応し、地域のニーズを踏まえながら、令和 5 年度に着手した新栗の木緑地のリニューアル事業に継続して取組み、東屋や照明灯を設置したほか、一部区間に園路を新設するなど整備を進めました。				
今後の方向性	1 次年度も多様な主体と連携しながら「東区オープンファクトリー」を開催します。また、新たに外部人材を活用し、今後の持続可能な運営構築を進めます。 2 石山・東石山地域において、施設整備等を担う民間事業者の公募条件等、各種詳細検討を行います。 3 防災講座を通して、ハザードマップの見方や居住している地域に応じた正しい避難行動を学んでいただくとともに、災害に対する日頃からの備えなどを啓発し防災意識向上に資する取り組みを行っていきます。 4 民生委員・児童委員や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、継続して見守りを行っていきます。 5 事業を通して子育て 3 施設が連携し、東区の強みである子育て施設の情報・魅力発信に努めます。 6 引き続き、地域へ情報提供しながら、新栗の木緑地のリニューアル事業を進めていきます。				